

# 復 活

元旦礼拝

2026・1・1

# イエスを理解しなかった弟子たち

- ・弟子たちはイエスをメシアだと思っていたが…
  - ・彼らが願っていた「メシア」とはダビデ王の再来だった
  - ・弟子たちはイエスが王となり、イスラエルを再興してくれると思っていた
    - ・だからエルサレム入城の際、「ダビデの子にホサナ」と叫んだ
- ・イエスは彼らの「自己実現」の道具だった
  - ・イエスによって立身出世しようと思っていた
  - ・イエスは何度も死の予告をされたが弟子たちの耳には入らなかった

# イエスを理解しなかった弟子たち

- ・弟子たちはイエスをメシアだと思っていたが…
  - ・彼らが願っていた「メシア」とはダビデ王の再来だった
  - ・弟子たちはイエスが王となり、イスラエルを再興してくれると思っていた
    - ・だからエルサレム入城叫んだ
- ・イエスは彼らの「自己実現」を理解できなかった
  - ・イエスによって立身出世しそうと思っていた
  - ・イエスは何度も死の予告をされたが弟子たちの耳には入らなかった

人間は自分の都合の良いことしか耳に入らない！

# 十字架によって壊された夢

- 王になるものと思ったが、あっさり殺されてしまった
  - 死人をさえ生き返らせたイエスが何の抵抗もせず十字架にかけられた
  - イエスを裏切ったユダもまさか殺されるとは思っていなかった
- 十字架の死は弟子たちの間違った(歪んだ)願いを碎くために必要だった
  - 「主は打ち碎かれた心に近くいまし／悔いる靈を救ってくださる。」詩編34:19

# 神の思い(御心)に合わせる

- 私たちの願いと神の願いは異なる
  - 私たちは自分にとって都合の良いこと、喜ぶべきことを求めている
  - しかしそれが本当に私たちにとって「有益」であるかどうかは分からぬ
- 御心に合わせるために自分を変える
  - 「あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、**何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるか**をわきまえるようになりなさい。」ローマ12:2

# 十字架が成し遂げたこと

- 死は敗北であり終わりだと思われた
  - この世の幸せを望んでいた弟子たちにとって、イエスの死はその終焉を意味した
- しかし、十字架の死でなければ成し遂げられないことがあった
  - 「わたしたちは、この御子によって、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。」コロサイ1:14
  - 「また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。『皆、この杯から飲みなさい。これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。』マタイ26:27－28

# 苦しみに意味を与えた十字架

- 痛みや傷つくことは誰しも避けたい

- 人となられたイエスも十字架を受け入れることは容易ではなかった
- 「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。」(ゲツセマネの祈り)

- 苦しむことはイエスと共に戦う事

- 「キリスト・イエスの立派な兵士として、わたしと一緒に苦しみを忍びなさい。」テモテニ2:3

- 死がなければ復活はない

- 「しかし神は、この方を死の苦しみから解き放って、よみがえらせました。この方が死につながれていふことなど、ありえないからです。」使徒2:24

# 誰も信じていなかった復活

- ・イエスは何度も予告しておられたが…
  - ・「人の子は、祭司長たちや律法学者たちに引き渡される。彼らは死刑を宣告して、異邦人に引き渡す。人の子を侮辱し、鞭打ち、十字架につけるためである。そして、人の子は三日目に復活する。」  
マタイ20:18-19
- ・誰もイエスの復活を信じていなかった
  - ・女たちは「イエス（の遺体）に油を塗りに行くために」墓に行った
  - ・弟子たちは部屋に鍵をかけて震えていた

# 復活したイエスに会って

- ・イエスの本当の目的と、イエスが誰であるのかを理解した
  - ・「主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられたからです。」ローマ4:25
- ・人生観が全く変わった
  - ・イスラエルの再興などどうでもよくなつた
  - ・自らの立身出世などどうでもよくなつた
- ・死を恐れなくなつた
  - ・「死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。」コリントー15:55

# 「復活」こそが福音

- 「復活」こそ私たち人類の希望
  - アダムの罪によってもたらされた死の絶望を帳消しにし、新しい世界が始まった
- 私たちは死に向かっているのではなく「復活」に向かっているのである
  - 死は通過点に過ぎない
- 私たちの目には敗北や終わりのように見えることでも、神は必ず大逆転される
  - 「イエスは彼らを見つめて言われた。『人間にできることではないが、神にはできる。神は何でもできるからだ。』」マルコ10:27

# 希望に満ちた年が始まる！

「**希望の源である神**が、信仰によつて得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖靈の力によつて希望に満ちあふれさせてくださいるように。」

ローマ15章13節